

あいコープ放射能自主測定ニュース

No. 69 2013年4月1回

生産者の取り組み

—放射能対策をしています—

丸壽阿部商店

放射能検査を徹底すると共に、
震災前の水揚げ量に戻せるよう頑張ります



宮城県産唐桑生かき
※4月までの取扱い

震災による津波の被害は甚大で、まずは漁業の再開に尽力しました。現在、主力商品のワカメや牡蠣の出荷が徐々にできるようになりました。私たち海産物の生産者は漁業の復興に加え、原発事故による放射能汚染への対策も必然だと考え、定期的な検査を、地域を挙げて実施しています。

■最新の自主検査結果 | 丸壽阿部商店提供

測定日	商品名	放射性 Cs134	放射性 Cs137	測定対象	測定 方法
2013/2/6	宮城県産唐桑生かき	<0.6	<0.6	製品	Ge

外部検査機関で、月1回程度ゲルマニウム半導体による商品アイテムごとの検査をしています。原料仕入先(宮城県漁協)でも週1回、浜ごとに検査を継続しています。

私たち養殖業は、貝毒やノロウイルスなどの海産物汚染リスク調査体制が震災前から整備してあったため、放射能検査の体制も震災後迅速に整いました。海域を決めて、定期的に検査を実施しています。環境が汚染されれば自分たちの作る海産物を組合員のみなさんに自信をもってお届けすることはできません。今後も震災前の水揚げ量を目指すと共に、放射能検査の精度もできる限り高めていきます。組合員のみなさんへは、「家族と同じように安心して食べていただける海産物を」という思いで、これからもお届けしたいと考えています。



丸壽阿部商店社長
阿部寿一さん

■気仙沼湾牡蠣 検査結果

測定日	放射性 Cs134	放射性 Cs137
2013/3/15	<20	<20
2013/3/8	<20	<20
2013/3/1	<20	<20
2013/2/22	<20	<20

JF 宮城県漁業協同組合 HP より
<http://www.jf-miyagi.com/index.html>